田川市地域福祉計画

互いに支え合う協働のまちづくり

誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らすためには、さまざまな生活課題に、市民一人ひとりの取り組み（自助）や地域・各種団体などの取り組み（共助）、行政機関の支援・サービス（公助）が相互に補完し合い協働して対応することが必要です。そこで、市では、これらの取り組みを計画的に推進するために、田川市地域福祉計画を策定しました。

1 市民とともに計画を策定

この計画を策定するにあたっては、市民のみなさんの考えや意見が反映できるように、市民アンケート調査や市民ワークショップを実施して、市民参画の機会を設けて計画案を策定しました。

それから、大学や保健医療、社会福祉関係者に加え、市民代表者を委員とする「田川市地域福祉計画（第１次）策定委員会」を設置、また、市民のみなさんの意見を聞く「パブリックコメント」を実施し、計画案への意見や助言をいただきました。

計画策定の流れ

市民アンケート調査・市民ワークショップ
（住民参加・意見集約）

↓ 課題および意見の把握・反映

田川市地域福祉計画策定ワーキンググループ会議
（庁内関係課職員＋田川市社会福祉協議会職員）

↓ 計画案の策定

田川市地域福祉計画（第１次）策定委員会
（学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、市民代表者）

↓ 計画案の審議

パブリックコメント
（住民参加・意見集約）

↓ 計画案に対する意見

田川市地域福祉計画

2 市民のみなさんの意見から見えてきた課題

●地域での関わり

ご近所づきあいでは「立ち話程度」「あいさつを交わす程度」の回答が最も多い結果でしたが、一方で「ご近所づきあいを広げたい」と考えている人が約 20%いました。

●地域での支え合い

「日常生活で困ったときに地域でしてほしいこと」、「困っている人にできること」は、いずれも「災害時や急病などの緊急時の対応」や「安否確認の声かけ」の回答が多い結果でした。

●地域での相談体制

現在の悩みや不安として「身の回りのことがいつまでできるかわからない」、「経済的に生活できるか不安である」の回答が多く、自立した生活への不安感が高い傾向があります。また、「身近な相談窓口の充実」が市に求められています。

●地域での見守り活動

「家族・地域住民・行政がともに協力し合って取り組むべき」の回答が多くなっています。また、「一人暮らし高齢者への支援」や「障害者の生活への支援」が必要であるという意見がありました。

●地域福祉の情報

情報の入手手段としては「広報たがわ」が最も多く活用されています。その一方で、サービスや案内窓口がわからないという意見も出されました。

●地域活動

「近所の交流機会がなくなり、お互いに助け合うことがなくなった」や「地域活動への参加は、特定の人に限られている」などの意見がありました。

●ボランティア活動

ボランティア活動に「参加したことがない」人の割合は 57.6％でしたが、そのうち 34.8％は、今後参加したいと思っているようです。

これらの課題や本市を取り巻く現状を踏まえ、この計画の基本理念を「互いに支え合う協働のまちづくり」と定めました。次ページでは、この計画の主な内容を紹介します。なお、詳しい計画書などは市ホームページに掲載するほか、市役所１階の地域福祉課で見ることができます。また、概要版を作成していますので、詳しくは問い合わせください。

基本理念　互いに支え合う協働のまちづくり

計画期間：平成28年度～平成32年度（５年間）

基本目標１　互いに支え合うひとづくり

取り組みの柱：意識啓発・担い手の育成

【自助】
○常日頃からあいさつするなど、年代を問わずご近所の人と仲良くしましょう。
○知人に呼びかけてボランティア活動をしてくれる人を増やしていきましょう。

【共助】
○地域福祉活動への関心を高め、積極的に地域の団体などにかかわりましょう。
○ボランティア養成講座などを開催し、地域活動への参加を呼びかけましょう。

【公助】
○社会福祉協議会と連携し、地域福祉計画の周知や理解を図ります。
○地域での自主運営活動を支援したり、認知症や人権問題に関する講演会などを開催したりして、福祉意識の啓発を行います。
○小中高校生向けのボランティアスクール（福祉体験）を開催します。
○高齢者や障害者、子どもを支援するボランティアを養成、支援します。
○地域団体などが行う、公益性の高い活動での事故に対して一定の補償を行います。

基本目標２　互いに支え合う地域づくり

取り組みの柱：地域活動の推進・地域生活を支える取り組みの推進

【自助】
○地域活動を行う組織作りに協力しましょう。
○高齢者や一人暮らしの人にできるだけ声をかけ、安否を確認するよう配慮しましょう。
○自分に合った運動を行い、健康を守りましょう。

【共助】
○災害に備えて、地域で協力し合える組織をつくりましょう。
○外出することが難しい人の代わりに買い物に行くなど、地域で支え合いましょう。

【公助】
○高齢者や障害者、子育て世代などの交流の場づくりを支援します。
○地域防災を担う自主防災組織の設立や活動を支援します。
○生活に困っている人に対して、生活資金や住居確保を支援します。
○「田川市見守りネットふくおか」や「地域ほっとネットワーク」の取り組みを推進します。
○地域での子育て相互援助活動を推進します。
○消防団や自主防災組織による高齢者などの見守り活動を推進します。

基本目標３　互いに支え合う体制づくり

取り組みの柱：相談体制の推進・支援体制の整備

【自助】
○人を思いやる気持ちを持ちましょう。
○悩みや不安を、家族や友人、知人に相談しましょう。
○なにか困ったときに、助け合える親しい人をつくりましょう。

【共助】
○困っている人がいたら地域で助け合いましょう。
○福祉に関する課題に、みんなで協力して取り組みましょう。
○地域で支え合えるネットワークをつくりましょう。

【公助】
○高齢者や障害者、女性などを対象とする相談、子育てや健康についての相談を実施します。
○成年後見制度の適切な利用を支援します。
○各専門機関と連携し相談体制の充実を図ります。
○０歳から18歳までの切れ目のない包括的支援を推進します。
○地域支え合い体制づくり会議や障害者総合支援協議会などを開催し、さまざまな地域課題を検討します。

◆問い合わせ　地域福祉課福祉政策係（☎44－2000 内線161･162）